

(別紙4(2))

事業所名: グループホームおかげ

作成日: 令和 5年 10月 11日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議が書面会議となった場合でも可能な限り双方向性の会議となるよう、ホームの情報提供に対し、運営推進会議のメンバーがそれぞれの意見や提案書が分かるよう議事録に残しておくことが望ましい。また、併せて避難訓練の実施状況についても運営推進会議に報告し議事録に残しておくことが望ましい。	運営推進会議が書面会議となった場合も含め、推進員の誰からの意見・提案かがわかるような議事録の作成をします。今まで、行事内容として避難訓練の実施状況を報告してきましたが、訓練内容等を含め会議で報告し、議事録に残すようにします。	次の会議開催が11月を予定しており、9月開催した運営推進会議の議事録から、誰からの意見・提案であるか報告します。また、今回の推進会議の結果も11月報告予定で上げておりましたので報告予定です。避難訓練に関しては、消防立ち入りでの訓練予定をしておりますので終わりましたら、会議で報告するようにします。	2～4ヶ月
2	6	引き続き身体拘束を必要としない状態の実現を目指すため職員間で検討を重ね、代替的な方法を職員全体で討論し、身体拘束廃止に向けて取り組むことを期待する。	身体拘束をしないケアの実現に向けて職員全体で共通認識をもって取り組む。	水泡性類干疱瘡の為次々と水泡が出来、皮膚の掻痒感も強いため常に掻きむしりによる皮下出血や皮膚剥離をされるためミトンを使用していた利用者が9/26永眠され、現在身体拘束をしている利用者はいませんが、引き続きほかの身体拘束を含め、身体拘束をしないケアの実現に努力します。	1ヶ月
3	35	災害への対応強化が求められており、BCP(業務継続計画)策定の義務化を踏まえた、研修の実施、訓練(シミュレーション)の実施が2024年度から必須となり、今後、早期に取り組みを進めることを期待したい。	BCP(業務継続計画)を策定する。	昨年度ホーム内で新型コロナウイルスの感染症がクラスター状態となった為、感染症対策の為のBCP計画を策定しました。今、自然災害の為のBCP計画策定中です。(厚労省のひな形を使用しています)	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。